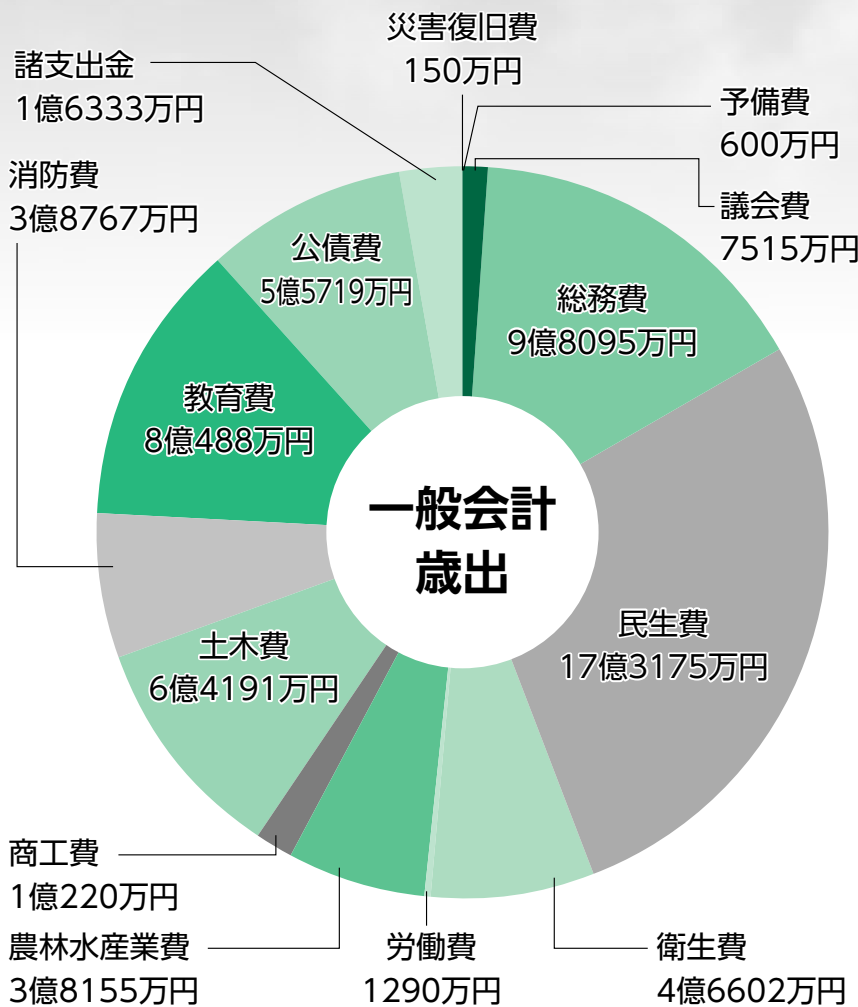


一般会計

63億1300万円【前年度比1.7%の減】

令和2年度
予算「活力と安心のまち、
向かう未来へいざ前進」予算

令和2年第1回定例会は、3月2日から25日までの24日間の会期で開かれ、提出された議案は条例関係5件、令和元年度補正予算10件、令和2年度予算8件、その他2件の合計25議案でした。令和2年度の一般会計予算は63億1300万円となり、昨年度より1.7%の減少となりましたが、過去2番目の予算規模となっています。

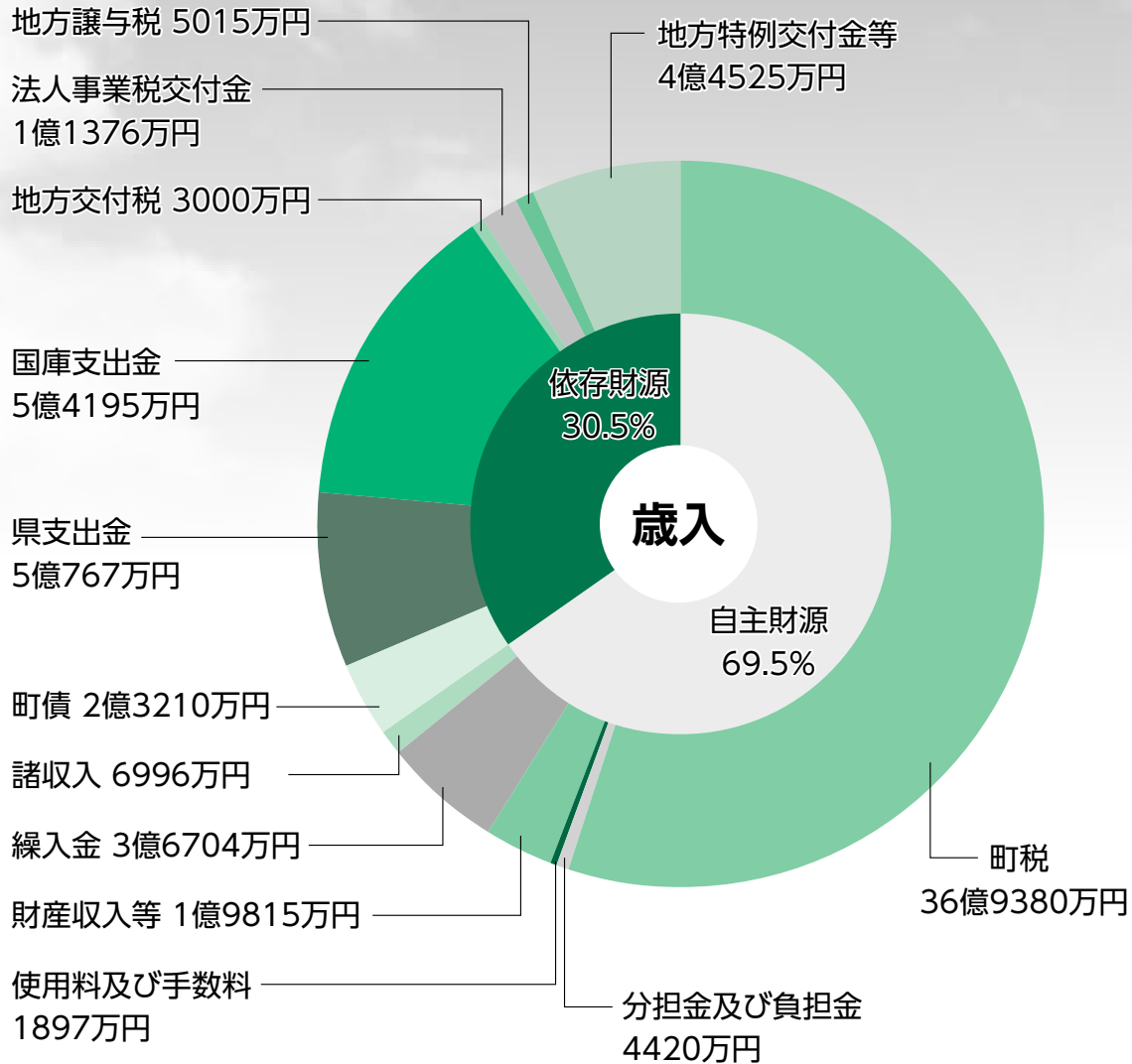
令和元年度一般会計補正予算は、3億6674万1千円を追加し、総額69億8940万1千円となりました。

予算の特色 ～将来を見据えた積極的予算～

令和2年第1回定例会において、令和2年度一般会計予算が提案され、予算決算常任委員会にて集中審議を行った後、本会議において討論・採決を行った結果、賛成多数で可決しました。

主な予算の内容は、コンパクトシティ化構想（案）に基づく中心核整備、竜王小学校の移転新築に向けた準備、新しい公共交通システム構築等となっていますが、令和元年度から実施している防災行政情報システムの整備にかかる事業費が減ったため、予算総額は昨年度に比べて1.7%の減額となりました。

過去2番目となる予算規模



町政執行方針



西田町長

西田町長は、令和2年度竜王町行政執行方針において、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱とした8つの施策に予算を重点配分することを表明しました。さらに、「今後ますます少子高齢化が進む中、新しいまちづくりの手法を用い、全ての町民の皆さまがまちづくりの主役として活躍する環境づくりに努め、地域課題の洗い出しを行うとともに、住民自らが課題を解決する方法を見出せるよう支援を進めてまいります」と述べました。

施策の主な予算

コンパクトシティ化構想(案) に基づく中心核の拠点整備

中心核整備にかかる測量等を行い、地元や国・県などの関係者と協議を進める。

1095万円



竜王小学校の移転新築等に向けた準備

令和7年4月の開校をめざす小学校の移転にかかる基本計画の策定準備と、補助金を受けるための竜王小学校の耐力度調査等を行う。

1161万円

滋賀国スポ開催に向けた ボルダリング施設整備と選手育成

選手養成およびより多くの町民がボルダリングに親しむことができる施設の整備。

344万円



新しい公共交通システムの構築

通学定期補助、夜間特別便（乗合タクシー）の継続。町内移動を担う新たな移動手段の実証運行を実施し、地域と中心核をつなぐ公共交通システムの構築を目指す。

1092万円



令和2年度の重点

竜王大橋の耐震補強と 道路交通網の長寿命化

緊急輸送道路上に位置する竜王大橋（小口地先）の耐震補強工事、また町道の舗装修繕等による長寿命化を行う。

1億3500万円



竜王町防災行政 情報システムの整備

町内に屋外拡声子局を設置するとともに、全戸に戸別受信機の配付を行う。また情報伝達アプリの整備を行い情報伝達手段の充実を図る。

1億1668万円

竜王町洪水・土砂災害 ハザードマップの作成(更新)

地先の安全度マップと国の洪水浸水想定区域図等を基に、最新のハザードマップに更新し、災害予防対策に活用する。

617万円



高齢者福祉施設の整備

第7期介護保険事業計画に基づき、綾戸地先に地域密着型の認知症高齢者グループホームの整備促進。

4115万円

議会報告会で 意見交換を実施しました!!



健康推進員は、地域住民の健康保持増進のために活動されているボランティアの皆さんだよ。



町議会では、町民の方々の意見等を得るため、毎年、議会報告会（懇談会）を開催しています。令和元年度は、去る1月16日に町保健センターにおいて、健康推進員の皆様との意見交換を実施しました。

議会報告会（懇談会）では、議員と健康推進員が5つのグループに分かれ、活動を進める上で感じられていること、課題等について、多くの意見を出していただきました。

R2年度は、⑤禁煙推進・受動喫煙の防止が重点的取組だよ。



りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジとは、健康寿命の延伸のために、重点テーマとした7つの取組のことだよ。

- | | |
|----------|---------------|
| ①健診受診の促進 | ⑤禁煙推進、受動喫煙の防止 |
| ②栄養・食生活 | ⑥適正飲酒の推進 |
| ③運動・身体活動 | ⑦こころの健康づくり |
| ④歯と口腔の健康 | |

テーマは「りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジ」活動推進の状況と課題



地域の若い方にも血圧測定や集団健診へお誘いしている。

活動に 対する 声

健康推進員になって地域の高齢者との交流が持てて良かった。

自分も健康になり、家族の健康も考えられるようになって良かった。

健康ベジ7チャレンジを意識することで活動内容の幅が広がった。



若い方が健康推進員に入ってこれないので後継者がいない。

健康推進員が不在の地域があるため、地域間の格差が課題。

課題の 声

健康推進員の活動を地域から認めてもらいたい。



男性や若い方に参加してもらえる取組を考えたい。

補助金をもらっているが、活動資金としては厳しい金額。



今後の議会活動 に生かします

健康推進員の皆様と議員が意見交換をする中で、地域住民がいきいきと暮らしていくためには、健康寿命の延伸と健康悪化になりそうな予備群に歯止めをかけていく活動が最も大切であるという共通認識ができて、大変有意義な時間となりました。

また、健康推進員は健康ベジ7チャレンジの推進役として活動いただいておりますが、担い手・後継者不足という声もありました。健康寿命の延伸は、町の福祉や暮らしに直結する重要なテーマであり、健康推進員の皆様から頂いたご意見を、今後の議会活動に生かして参ります。

総務産業建設常任委員会



竜王町交通計画

乗合タクシー（デマンド型・区域運行）の導入を検討
令和2年秋には実証運行開始の予定

本町に相応しい新たな移動手段として、乗合タクシー（デマンド型・区域運行）による交通ネットワークの整備を検討している。

また令和2年秋には実証運行を開始し、課題等については見直しを進めながら軌道にのせたいとの説明を受けた。

主な運行内容

- 対象利用者の年齢制限は設けない。会員制を検討。
- 運行区域は町内のみ。
- 運行は平日のみ。
- 予約方法は電話予約。
- 自宅付近の停留所（徒歩100m内）で乗降。
- 1乗車あたりの運賃は均一。



乗合タクシー利用のイメージ



上下水道料金体系

水道料金計算例

口径13mmで1か月25m³を使用の場合

基本料金	(15m ³ までの基本水量含む)	3,000円
従量料金	(16m ³ ~25m ³) 10m ³ ×125円	1,250円
消費税		4,250円×1.10
メーター使用料		50円
		4,725円

公共下水道使用料計算例

1か月25m³を使用の場合

基本使用料	(15m ³ までの基本水量含む)	1,800円
従量単価使用料	(16~50m ³) 10m ³ ×125円	1,250円
消費税		3,050円×1.10
		3,355円

主な質疑応答

- 問** 老朽化している配水管について、入れ替え計画はあるのか。
- 答** 毎年約1億円の予算を計上し布設替えしているが、今後は増加傾向にある。
- 問** 公共下水道と農村下水道を今後どの様に進めるのか。
- 答** 農村下水道は最終的には公共下水道への接続を進めていく。



竜王町課設置条例の一部を改正する条例…コンパクトシティ化構想（案）の具現化に向けた体制を整備するため、新たに「中心核整備課」を設置する。

賛成多数で可決

教育民生常任委員会

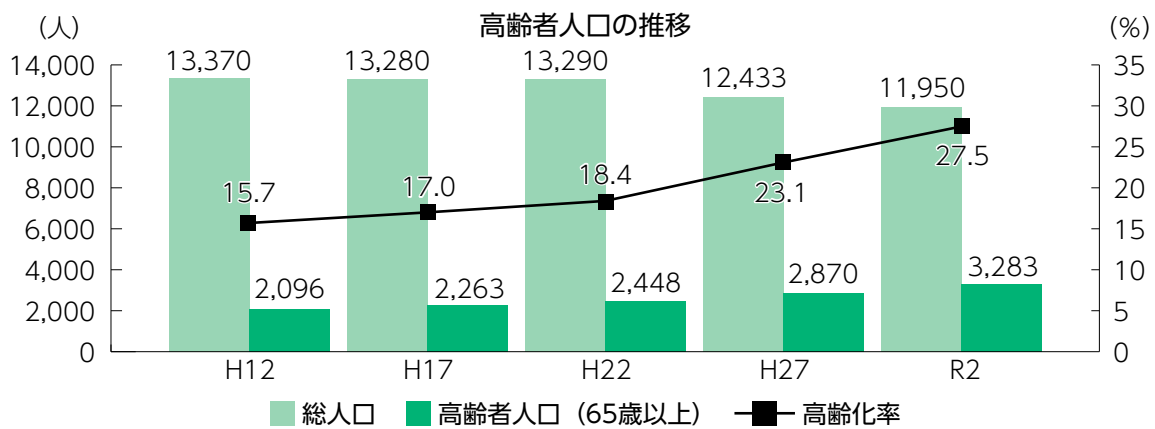
調査 介護保険制度

介護保険制度とは

- 40歳以上のすべての住民が加入。
- 65歳以上の方は第1号被保険者、40～64歳の方は第2号保険者となる。
- 第1号被保険者は「介護や日常生活の支援が必要」と認定された場合、第2号被保険者は「特定疾病により介護や支援が必要」と認定されると保険制度の支援を受けられる。

主な質疑応答

- 問** 要介護3以上であれば、竜王町に住所がなくても特別養護老人ホームの利用が可能か。
- 答** 広域型であるので他市町の方でも利用できる。ただし地域密着型サービスは竜王町に住民票のある方だけ利用できる。



調査 国民健康保険制度

国民健康保険制度とは

- 加入者（被保険者）が扶養共済を図る社会保障制度
- 加入は強制
- 世帯主に課税
- 届出の義務（加入・脱退は14日以内）

竜王町の加入状況（H30年度平均）

世帯 1,405世帯（32.4%）
被保険者 2,446人（20.2%）

主な質疑応答

- 問** 所得に応じて保険税が変わってくるのであれば、世帯分離によって保険税額が変わる事もあるのか。
- 答** 平等割が2世帯分となるので逆に上がる場合もある。

保険税のしくみ

次の4つの項目について算出し、それらを合計して世帯ごとの金額が決まる。

所得割	加入者全員の前年の合計所得
資産割	加入者全員の合計固定資産税額（家屋・土地）
均等割	加入者人数に応じる（単価×加入者人数）
平等割	1世帯あたり同額負担

※令和4年度に3方式（所得割・均等割・平等割）に移行するよう段階的に改正中。

地域活性化特別委員会



コンパクトシティ化構想（案）の交流・文教ゾーン

交流・文教ゾーンについて以下の内容の説明を受け調査した。

調査内容

- 交流・文教ゾーンの配置機能（小学校・こども園・学童保育・給食センター・公園・共用駐車場等）
- 中心核周辺の浸水想定図
- 埋蔵文化財の分布図
- 道路網図
- 上下水道・用排水路網図

主な質疑応答

- 問** 交流・文教ゾーンの最大浸水深について、2m以内と想定しているが十分か。
- 答** 現在示されている想定の中で、最も浸水が深いものを使用している。



交流・文教ゾーンが予定されているエリア



空き家対策の現状

令和元年度の空き家件数は171件、空き家率は4.5%

これまでの経過と現状

経過

「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年に全面施行され、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため「竜王町空家等対策計画」が策定された。

主な質疑応答

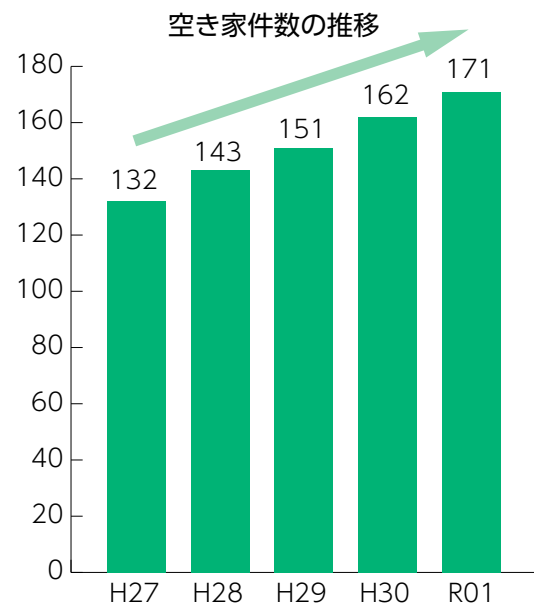
- 問** 空き家について、所有者と行政の認識に温度差があるが周知方法は。
- 答** 固定資産税の納付者にチラシを送付し、空き家所有者には少し踏み込んだ内容の資料で周知する。

(空家等の所有者等の責務)

空家等の所有者または管理者は、周辺的生活環境に悪影響を及ぼさないよう空家等の適切な管理に努めるものとする。

【特別措置法 第3条】

現状



空き家等の実態調査集計結果より

町政 ここを聞こう!

3月定例会では11議員が
19問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
12	鎌田勝治議員	町内の橋梁補強整備事業は
		職員のモチベーション向上は
13	尾川幸左衛門議員	災害時の自己水源整備は
	福田優三議員	青年団への活動支援は
14	大前セツ子議員	図書館運営の更なる充実を
	岡山富男議員	竜王西小学校体育館改修は
15	貴多正幸議員	田園資料館での飲食は
		子どもの療育事業の今後は
16	澤田満夫議員	野洲市・湖南市・竜王町の連携強化は
		祖父川北出橋付近の危険性は
17	森島芳男議員	IBMグラウンド跡地のその後は
		河川愛護活動委託の検討は
18	橋せつ子議員	国民健康保険税の軽減は
		保育園への特別支援保育事業費補助金は※
		コンパクトシティ化構想(案)は
19	中村匡希議員	災害に備えた公衆Wi-Fiの整備は
		地域おこし協力隊の今後は
20	磯部俊男議員	農林公園内国道477号の歩道整備は
		健康推進員の活動の現状と課題は

※紙面の都合上、掲載しておりません。

一般質問って？

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸

問 町内の橋梁補強整備事業は

答 計画に基づき順次修繕を行う



鎌田 勝治 議員

問 現在、町内に点在する橋梁は128橋あるが、補修・補強工事計画に関して今日までの経緯を含めた進捗状況および今後の計画を伺う。

答 平成21年度の点検結果に基づき平成22年度から23年度にかけて修繕計画を立て、平成25年度から修繕工事に着手してきた。その後、橋梁点検が法定化され、5年に1回を基本に点検することになり、健全度を4段階

に区分して評価している。平成26年度に実施した当時の対象橋梁117橋の点検結果は、評価Ⅲの「機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき橋梁」が12橋であり、これらを含めて、17橋の修繕工事を優先して実施してきた。今年度は全128橋について点検を実施し、結果を基に次年度に修繕計画の見直しを行い、引き続き橋梁機能の回復と維持強化を図る。



補強が望まれる山田川橋（山面地先）

問 職員のモチベーション向上は

答 良好なコミュニケーションで風通しの良い職場づくりを目指す

問 職員の育成については、「竜王町人材育成基本方針」に則り取り組んでいるが、次の4点を伺う。

- ①職員提案制度の実態は。
- ②風通しの良い職場作りの具体的な取組は。
- ③情報共有化の取組は。
- ④従来の慣習や慣例に流されない文化を構築する取組は。

答

① 平成22年度、23年度に提案があったものの審査対象には至らなかった。またそれ以後実績はない。

② 平成29年度から「すまいる接客アクションプラン」を策定し取り組んできた。また、サンクスカードを交換し合い感謝の気持ちを見え



庁舎内の朝礼風景

る化させる事で、職員のモチベーション向上を図ってきた。

③ 毎朝の幹部朝礼、毎月1回の主監課長会議で各課の事業進捗の情報共有と調整事項の協議に努めている。

④ 例年、予算編成時に前例踏襲にとらわれることがないよう、適切

な事業評価を実施し、事業のスクラップ・アンド・ビルドを図ってきた。また、事務処理の改善については、庁内ネットワークを利用したスケジュール調整、情報共有、施設管理業務の一括契約等の取組を行ってきた。

問 図書館運営の更なる充実を

答 サービスの充実を目指す



大前 セツ子 議員



図書館利用の様子

問 図書館運営について、昨年10月より障がい等の理由で来館が困難な方へ、図書の配送サービスが始められたと聞く。

答 現在、高齢者の方には、地域に向いて敬老会等でおはなし会を開催し、高齢者施設には、団体貸出を利用してもらっている。

今後は、現在の小学校等を対象とした出前貸出を地域まで、また障がいのある方を対象とした配達貸出の対象を後期高齢者まで広げる検討をしていく。



岡山 富男 議員

問 竜王西小学校体育館改修は

答 校舎を含めた長寿命化改修をしていく

問 竜王西小学校体育館改修工事が、いまだに見送られていることについて町の考えを問う。



修繕が必要な西小学校体育館の床

答 今後築40年を経過する頃を用途に長寿命化改修を実施し、現在の場所で見送られていることについて町の考えを問う。

今後築40年を経過する頃を用途に長寿命化改修を実施し、現在の場所で見送られていることについて町の考えを問う。

今後、西小学校体育館の使用に支障をきたすような部分については、その都度適切に修繕していく。

問 野洲市・湖南市・竜王町の 連携強化は

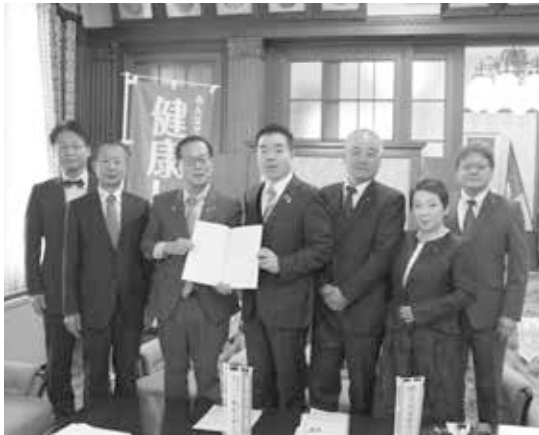
答 連携を図る環境の創出が必要



澤田 満夫 議員

問 竜王町は、野洲市・湖南市に接しており、両市とは社会的・経済的・人の往来等で結び付きが強い。現在、総合調整協議会で両市と連携を図っているが、喫緊の課題もあり、一層連携を強める必要があると考えるが町の考えを伺う。

答 野洲・湖南・竜王総合調整協議会は、2市1町の広域的な開発ならびに課題について総合調整機能の強化を図り、相互の発展を通じて住民福祉



野洲・湖南・竜王総合調整協議会の知事要望

の向上に資する事を目的に活動を進めている。現在は2市1町の利便性や魅力を高めるため、道路整備実現に向け情報交換を密にし、継続した要望活動を実施している。併せて中心部に位置する希望が丘文化公園のあり方や有効活用についても共通認識の課題として県に働きかけを行っている。今後も広域連携担当部局だけでなく他部局においても情報の交換を行い、一層の連携を図る環境を創出する必要があると考えている。

問 祖父川北出橋付近の危険性は 答 県に危険性軽減の検討を求め

問 総合運動公園前祖父川の北出橋付近は、集中豪雨による一気水が発生すると、橋床まで水位が上がる。東側には住宅地が隣接し、人命や住宅被害等の可能性が高い。近隣住民の不安払拭に対し、どのように考えるか。

答 祖父川の流下能力向上には下流部の日野川の改修が必要である。河川管理者である県は、近江八幡市内のJR橋付近まで工事進捗を図られ、善光寺川合流点までが河川整備実施区間となっている。更に上流部への延伸について検討されているが、本町に至るのはまだ先のことである。この現状の中、祖父川沿川地域を浸水害から守るため、止水矢板工等による堤防強化対策が上流部で実施



祖父川北出橋

されている。また、流下能力維持のため、定期的な河床整正が行われている。この機に改めて県に越水による危険性を軽減できる方法について検討されるよう求め、必要により、堆積土砂の撤去および整正、雑木の伐採等を要望していく。

問 国民健康保険税の軽減は

答 独自の緩和策で軽減を図る



橘 せつ子 議員

問 国民健康保険税について次の2点を伺う。
①令和2年度の保険税はどのような状況になるか。
②国保税のみ子どもにも均等割がかかることについて、どのように考えているか。国保基金により子ども均等割をなくすることはできないか。

答 ① 来年度の保険税の状況については、本町の国民健康保険事業財政調整基金1700万円を投入し、独自の緩和策で軽減を図っている。

② 国民健康保険制度の均等割は子どもにも保険税が賦課され、子どもが多いほど保険税が高くなることは認識している。しかし均等割は全被保険者に賦課されるもので、子どもの均等割を軽減することにより、その分を他の被保険者に負担頂くことになる。負担の公平性を保つため、子どもにかかる均等割の軽減は考えていないが、子育て支援等の観点から、町独自の取組によるべきでなく、国として制度化されることが必要と考える。



国保制度や国保税の啓発パンフレット

問 コンパクトシティ化構想(案)は

答 皆様の御理解は頂けたと考える

問 コンパクトシティ化構想(案)に対し地域ではその必要性について、疑問の声も寄せられている。住民の多くがよく分からない状況で進められていると感じるが、次の3点について伺う。
①今後の意見交換会等の開催予定は。
②文教施設等の建設費は概ね50億とされているが、町の中期財政計画は。
③惣四郎川の氾濫も想定されるが、嵩上げ等で安全な地域になるのか。

答 ① コンパクトシティ化構想(案)とグラウンドデザイン構想(案)については、おおよそ皆様の御理解は頂けたものと考えている。今後は第6次竜王



令和元年度の意見交換会の様子(山之上会場)

町総合計画に両構想(案)を明記し、その過程で皆様から御意見を頂くと共に、地元や地権者への丁寧な説明を予定している。
② 総事業費50億を見込んでおり、財源として国・県補助金、基金の活用、町債の発行等で

事業実施は可能と見込んでいます。
③ 浸水想定への対応策については、嵩上げは必須で、校舎の敷地は高く、グラウンドは低くする等調整池の機能をもたせる整備を検討している。



中村 匡希 議員

問 災害に備えた公衆Wi-Fiの整備は

答 施設の目的に合わせ整備を検討する



Wi-Fiは非常時こそ必要

問 大規模な災害時の安否確認や災害情報の確認のため携帯電話回線を補完する公衆Wi-Fi環境の整備が必要と考えるが町の見解を伺う。

答 町の公共施設における公衆Wi-Fi設置状況は、道の駅アグリパーク竜王、道の駅竜王がみの里、町公民館となっている。

また総合庁舎や防災センターなどの一部のパソコンではWi-Fiを使用しているが、セキュリティの確保も必要である。

各学校への導入についても、不適切な利用や部外者の侵入が懸念され、その導入について慎重な検討が必要である。施設の設置目的や利用状況、運用に必要な費用等を総合的に勘案し、研究・検討したい。

問 地域おこし協力隊の今後は

答 継続して取組む

問 地域おこし協力隊は平成27年度から本町で導入され、これまでに2名を採用したが、その後は採用が続いていない。移住定住の促進、関係人口の増加にも貢献する制度と考えるが、人材募集における課題の分析と今後の制度の運営について町の見解を伺う。

答 地域おこし協力隊はこれまで空き家を改修した「ひだまり学舎」の開設などの取組を行ってきた。

本年度は2024年の第79回国民スポーツ大会で竜王町が開催地となる「スポーツクライミング」をテーマに採用を予定していたが適任者がなく採用に至らなかった。活動内容を専門分野に絞りすぎたことが反省点として



林地区にある「ひだまり学舎」

挙げられる。人材のマッチングの難しさが課題ではあるが、今後とも本制度の目的を

達成できる人材を求め、継続して取組を進めていきたい。

問 農林公園内国道477号の歩道整備は

答 県に引続き要望していく



磯部 俊男 議員



歩道整備が待たれる国道477号

問 農林公園内国道477号の歩道整備の今後の対応について町の見解を伺う。

答 今年度、山之上南交差点から県道水口竜王線までの区間について地形

測量が行われた。今後、路線測量、歩道詳細設計、工事着手の工程で順次進められる。県に対して早期に工事着手、完了して頂くよう引続き要望していく。

問 健康推進員の活動の現状と課題は

答 引続き支援していく

問 健康推進員の活動の現状と課題について町はどのように考えているか。

動が定着されるよう支援に努める。

答 健康推進員は令和元年度では、27地区、109名の会員数で地区活動が実施され、町の健康課題である糖尿病や高血圧症に対する減塩啓発や血圧チャレンジ、りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジの推進役として積極的な活動を展開している。

しかし推進員がおられない地区、会員数による活動の地域差、新しい担い手の不足が課題である。

今後は、町として新たな担い手の確保と『私たちの健康はわたしたちの手で』のスローガンに各自治会が賛同頂き、健康推進員による継続した活



野菜食べ隊支援事業の様子



あの質問はその後、どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

スポーツ振興と施設の管理は

平成30年3月定例会 一般質問より

問 ドラゴンハットの屋根の雨漏り、音響設備の修繕計画は。

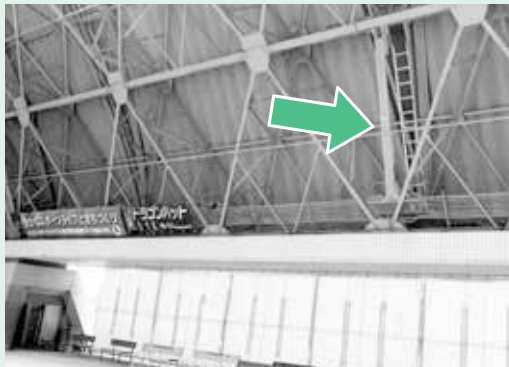
答 総合運動公園の長寿命化計画に基づく修繕計画を作成する。

問 音響調査はされたが、いまだに聞き取りにくい。国体に向けこれを契機に国の補助金を受けては。

答 長寿命化計画を策定し、音響設備も検討に入れ優先順位を決め進める。

その後

令和元年10月4日から令和2年3月25日に工事が実施された。南側3か所、北側3か所設置され音響効果は良く、各種大会での利用が期待される。



改善された音響設備

次回の一般質問は 令和2年5月29日(金)の予定です

令和2年第1回定例会に引続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合があります。

傍聴案内については事前に町ホームページでご確認ください。

なお、本会議の様子は有線放送にて中継でお送りしています。受話器を上げて75番を押してご利用ください。チャンネル放送停止は70番です。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



問 議会事務局 電話 0748-58-3713

